

体 育 の 原 理 第 Ⅱ 集

—東京オリンピックでスポーツはどのように見られたか—

橋 本 性 一

Principles of Physical Education

—From Witnessing Reports of Tokyo Olympic Games—

by

Seiichi HASHIMOTO

〔 研 究 目 的 〕

スポーツは、現在多数の社会的機関との間に、無視できない相互関係をもつようになってきている。学校、政府、政党、軍隊、企業会社、労働組合、宗教団体、地域自治体などで、政策的に、思想的に、教育的に、医学的に、経済的に、軍事的に、社会福祉的に利用されている。スポーツがこのような多方面で、色々な目的の手段として用いられているのは、過去の人間社会では見られなかったことである。このような現象はスポーツ自身にとって、簡単によろこばしいことだといえるであろうか？。スポーツは現実の利害関係に応じる奉仕の役割しかもっていないのだろうか？。わたくしは、スポーツは単に奉仕的な価値だけでなく、何か人間の永遠の至福につらなるものを持っているはずだと思う。人間が人間らしく生きようとする場合、その生き方を具体的に実践しうる一つの物を提供するものであると思う。奉仕的な役割を果しつつも、底にある主体的な、不動のものを見付けねばならないと思う。スポーツのためのスポーツというような意味ではなしに、人間のためのスポーツ、人間自身の本質的な存在のためのものであるという、主張が認められねばならないと思う。私はこのようなものを見出し、それが、例え外見的にはかくされているような状態であっても、その底に常に流れているようにしむけたいと思う。この底に流れるべきものとは何か。

現代ほど、人々が、スポーツと何等かの関係をもっている時代はなかったのではなからうか。アメリカでの調査によれば（先進国では、大体これと似たりよったりではないかと推測される）年間に出版される約1万冊の本のうち、約400冊がスポーツを取扱った本であり、300冊のスポーツ雑誌が発行されている。そして最も人気のある雑誌は、殆んど毎号1乃至それ以上の、スポーツ記事をおせており、新聞は、そのスペースの8%から14%をスポーツの為にさいている。更に、ラジオやテレビの放送時間も、その7%から12%をこれにあてている、と発表している。これから考えられることは、現代人の最も大きな群衆は、スポーツ大衆であるといっても過言ではないであろう。この大群衆が、スポーツをどのように見、どのように行なうかは、すなわち、これらの人々をもつスポーツ観は、過去の歴史が教えてくれるように、その社会の健全さをしめす一つの指標である。私はギリシヤやローマの徹をふむ愚を、現在において、おかすべきではないと思う。スポーツをみる健全な目の育成保持こそ、大切なことではなからうか？。そして、この健全な目こそ様々に利用されるスポーツに於て、その底流に輝く、不動の光ではないか。

私は、この底流に輝く、不動の光の一端を求めようとしたわけである。このために、東京オリンピックに際して、スポーツについては何も知らずに、丁度幕末に、アメリカに渡ったジョンマゲのサムライが社交ダンスをみて、目をまるくした徒輩と同じ気持で（阿川弘之）、また、どうせスポ

ーツというものは頭や神経なんかを全く使う必要のないもので、無邪気にゲームそのものを楽しんでいけばいいのだという考えで（菊村到）、スポーツがみられたとしても、一方でそこに人間をみ、人生をみつめ、美を発見している人がいたことを確信する。それを確かめるために一般の人が莫然としか感じないことを明確に、或は拡大して表現しうる人、すなわち作家が、スポーツのどこで何を、どのようにみているか。特にどんな美をみつけ、何に感動したかをさぐって、その結果からスポーツを見る健全な目を明らかにしようと試みたわけである。

〔資料〕

東京オリンピック大会での、日本の代表的な作家19名の競技の観戦記35編を資料とする。これらの観戦記は朝日新聞などの9紙にのせられたものだが、現在、講談社より「東京オリンピック…文学者のみた世紀の祭典」という本にまとめられている。観戦種目とその編数及び作家名を表にすると次のようである。

種 目	編 数	作 家 名
ボクシング	1	三島由紀夫
ウェトリフチング	4	三島由紀夫 井上友一郎 柴田錬三郎 菊村 到
レスリング	2	阿川 弘之 富田 常雄
水 泳	6	三島由紀夫(2) 有馬 頼義 曾野 綾子 菊村 到(2)
陸 上 競 技	6	三島由紀夫 井上友一郎 柴田錬三郎 一雄 菊村 到 安岡章太郎
体 操	4	三島由紀夫(2) 平岩 弓枝 曾野 綾子
マ ラ ソ ン	4	尾崎 一雄 井上友一郎 永井 龍男 石原慎太郎
柔 道	4	井上 靖 富田 常雄 田村泰次郎 瀬戸内晴美
女 子 バレーボール	4	阿川 弘之 三島由紀夫 水上 勉 有吉佐和子
計	35	19 名

〔資料整理 I〕

まづ、スポーツのどこがみられたかを知るために、記事内容を次のように分類した。

I 選手に関する記事

(i) 試合中の選手に関する記事

- (a) 選手のしめす技術について (32)
- (b) 選手の態度、仕草について (20)
- (c) 選手のしめす表情について (13)
- (d) 選手のかもしだした雰囲気について (17)

(ii) 試合場面以外のときの選手に関する記事

- (a) 選手の態度、仕草について (24)
- (b) 選手のしめす表情について (15)

II 選手以外の事柄に関する記事

- (i) ゲームでの印象、所感について (34)
- (ii) 応援について (6)

(ハ) 会場について (10)

(ニ) 「かきだし」的なもの (7)

35編の全記事内容を、以上の分類にしたがって、いづれかに所属させた。すなわち、記事内容を少しも除外せずに分析したわけである。そして作家がいつれの記事に重点をおいたかを判断する基準として、記事の量的大きさ(文章の量的大きさのこと)に関係なく、件数を利用した。各分類項目のあとに掲げてある数字はそれをしめしている。この数字の考察はあととすることにして、件数の正確さを実証するために、それぞれの分類にしたがって、資料からの記事内容を紹介すると次のようになる。

◎試合中選手のしめず技術について

1. ボクシングの優秀な選手は、ただの野獣であっても、ただの優雅であってもいゝ選手にはなれなく、野獣の優雅さが必要であって密林的なもの、豹の一撃に、にたものが必要である。…三島由紀夫

2. レスリングにおいて長い手を、前にぶらりと下げ、背をかゞめ、相手をにらみながら、組み合っていくところは、砂浜で毛のないゴリラが、けんかをしているみたいながあいであり、相手の片足をつかんで、グイグイ引っ張り、振りまわすところなどは、犬が大ガエルの足を、くわえて振っているみたいなものだ。…阿川弘之

3. ヘイズが走りだすのを見ていると、とても人間とは思えない。まるで、電子によって飛びだしてくる1個の非常な機械を思わせる。…井上友一郎

4. ヘイズの巨体は、怒濤のようにふくれあがり、コース全体に、ヘイズただ1人という感じがする。…井上友一郎

5. ヘイズのスタートから、全力疾走に移る早さは、まさに外国産の自動車の出足を思いださせる。…井上友一郎

6. 森本選手(陸上 800メートル, ランナー)は少しも外人と見劣りせず、コーナーでせり合うときには、名馬ばかり集めた8頭立の馬車の、その1頭としての、式典風な威厳と美にあふれている。…三島由紀夫

7. 上半身は必死に急いでいるのに、下半身はキチンと一定の歩度を守っている競歩は、丁度夢の中で悪者に追いかけられるときの動きを連想させる。…三島由紀夫

8. 漆黒の体のヘイズは、私の目の前を、黒い炎のように、神速に駆け抜けた。彼は空間の壁抜けをやったのけたのだ。…三島由紀夫

9. 褐色のトラックの上を、さらにそれよりも濃い褐色の裸身ヘイズが、疾風のごとく駆けすぎた光景は、言葉に現わせぬ感動である。…柴田鎮三郎

10. 100メートル競走というのは、居合抜きみたいなものらしい、途中の経過はさっぱりわからなかった。わかったのは、ただヘイズがベラ棒に大きく見えたことだけだ。…安岡章太郎

11. ヘイズのダッシュは、むしろ意外にユックリと、まるで黒い小山がムラムラと動き出すような感じであり、一瞬後には彼の体はビックリするほど大きくなり、風をはらむようにして目の前に迫ってきた。ゴールの瞬間は、他の選手がどこにいるかを見失うほど、彼の体は圧倒的に大きくなったのである。…安岡章太郎

12. 遠藤選手の床運動は、ひろいマットの上の空間に、ジョッキジョッキよく切れる鉄を入れて、まっ白な切断面を、次々に削ってゆくような美技にあきれた。空間を裁断して行く人間の肉体、思い切った放埒を演ずる肉体、この美技をみていると人間はたしかに昔、神だったのだらうという気がする。…三島由紀夫

13. われわれには苦行である倒立でさえ、その1点で休むことができるとなれば、蝙蝠のような

ものだ。人間の肉体というものが、鍛えようによっては、思いがけないところに、思いがけない楽園を発見する奇蹟におどろかされる。…三島由紀夫

14. 体操の演技をみるのは、しじゅう故障ばかりおこすポロ車を後生大事に使っている男が、ピカピカの馬力の強い高級車をながめるようなものであり、それは老いや死や病気などという、人間の悲惨な終焉のイメージとは正反対の輝やかしさを持っている。…曾野綾子

15. 日本選手の体操の演技は名優の踊りを見る感じである。…曾野綾子

16. 2本のつり輪の間で、人間が正確なT字になってとまった時、小心な私には、実はそれまで拷問道具のように見える瞬間がないでもなかった。つり輪のやぐらが、何だか明るい遊び道具に見えてきはじめてのも、不思議であった。…曾野綾子

17. 床運動での、極度の柔らかさから極度の緊張へ、空虚から突然の充実へと、力が自在に変転して、とどまるところを知らない演技は、肉体というよりも、人間の精神が演ずる無上の形をみる。…三島由紀夫

18. 私はヘーシングの胸のすくようなわざの切れ味をみて、神永が敗れたことのくやしさをさほど感じないほど、その美しさに感嘆させられた。…井上 靖

19. 柔道の中谷選手の技は、よく訓練された肉体と精神で作られた正確無比の機械のようである。…田村泰次郎

20. 回転レシーブとか、フェイントとか、時間差攻撃とか、ひとつひとつの技術は私にはよく分らないが、それはスポーツというより、何かきたえられた名手の芸能をみているような感じであった。…阿川弘之

21. 河西選手が前衛に立つと、水鳥の群の中で一等背の高い水鳥の指揮者のように見える。またよく敵陣に目をきかせているところは、多勢の客を瞬一瞬見分けて、配下の給仕たちに、ぬかりのないサービスを命ずる名ホステスを思わせる。…三島由紀夫

22. ソ連のルイスカリ選手が強烈なボールを返すところは、いつも赤い炎の矢がとんでいく感じである。…三島由紀夫

23. 河西主将の活躍ぶりは、まるで孫悟空のように、あちらに現れ、こちらにも現れる。…有吉佐和子

24. (体操で)上手な選手は脚が長くみえ、下手な人は短く感じる。…曾野綾子

25. 8個のハードルを矢つき早に、とびこしていく女性の姿は、女の子が、ものを、またいだり、とびこえたりすることに抵抗を感じる私には、ハードルをとびこえるときの、からだか、キューッとしぼられるような、ねぢられるような、あの瞬間は、いたいたしい気がする。…菊村 到

26. つり輪で静止のきかない演技をみると、地球上のあらゆる物理的法則から完全にのがれようとする彼らに、無残な感じをうけとる。…曾野綾子

27. 小野は徒手で、遠藤はあん馬で、見のがしえぬミスをやったが、人間なら、あやまちを犯すほうがふつうで、あやまちを犯さないのは人間ではない。それらのミスにこそ、むしろわれわれと共通した人間の日常感覚のひらめきをみる。体操競技では、人間性をしめしたら、たちまち減点されるのである。ほんの数秒間であろうと、真のあやまりのない秩序を、政治や経済よりも、はるかに純度の高い形で人間世界へもたらす努力にうたれる。…三島由紀夫

28. 小野選手の鉄棒演技に、この人のもつ伝統的日本人を感じる。彼の演技には日本の古い伝統の技芸と同じ系列の技と心をみせつけられる。…平岩弓枝

29. 遠藤選手の演技は豪快そのものであって、日本人ばなれなところを感じる。…平岩弓枝

30. 河西選手のボールさばきをみていると、日本女性もここまで来たかという感慨しきりであった。何を基準に選んでも、今年の女性のナンバーワンは彼女ということになるだろう。…有吉佐和子

31. 体操や飛び板飛び込みで、落下のほんの瞬間に、人体が地球の引力に抗してみせる、あの複雑な美技に、人間意志のふしぎな働きをみる。又その自然への皮肉な反抗は、人間がきびしい自然にじゃれつく最高の戯れである。…三島由紀夫

32. 中谷選手(柔道)に負ける選手をみて、彼等が負けることを、前もって知っていて、参加したようにさえ思え、闘う宿命を背負った人間のむなしさを感じる。…田村泰次郎

◎試合中の選手のしめす態度や仕草について

1. やはり三宅には余裕があり、泰然たるなかにも鋭い神経をはたらかせているように見え、福田には血気にまかせて、強引に挑戦するといった感じがする。…井上友一郎

2. レスリングの吉田は気迫において、相手を圧倒しており、斗志と執念を、渡辺については斗志の火の玉を感じ、自信のほどがうかがわれ、上武には不屈の斗魂をみる。…富田常雄

3. ランド(女子走巾跳)選手は、自分の肉を手玉にとったような落着きをみせる。…檀 一雄

4. 3000米障害の予選で、黒人選手が、ほとんど2周おくれながら、ただ1人、けんめいに走る。そこに敗者の美しさ、栄光を見出す。…柴田鍊三郎

5. 小野選手の敵軍に身を売ったスパイのように、彼を内部から苦しめていた右肩の負傷にめげぬ敢闘に心をうたれ、その斗志に拍手を贈る。…三島由紀夫

6. アベベの疾走は孤高の王者のふんいきを、そなえていた。…石原慎太郎

7. ヘーシング以外と組んでいるとき、神永には王者の貫録といったものがあるが、その王者の貫録が、対ヘーシング戦の場合は、むしろ鈍重にみえる。…井上 靖

8. ヘーシングには余裕がみられ、相手をよせつけぬ王者の貫録をみせる。…富田常雄

9. 三宅選手には研究室の中の科学者をおもわせるものがあり、福田選手には、まるで踏み板から海へ身を投げるダイバーの姿を感じる。…三島由紀夫

10. 動物園の熊のように歩きまわる者、観衆に背中を向けて、じっと立つ者、バーベルの棒に手をかけながら、口のうちで、ぶつぶつと何かをいっている者、バーベルの前に立って、宙をにらみつけるもの、これらの行動は、そのお国柄と性格をしめしている。…柴田鍊三郎

11. 三宅選手がバーベルをつかんだせつな、顔をあげて、宙の高いところへ視線をはなつのを、眺めて、彼がおのづから会得した無心の一瞬に感服した。…柴田鍊三郎

12. バーベルにとりつく前の、選手の緊張に興味があった。この瞬間の恐怖と、しゅん巡を、のりこえようとする選手の動作は、精神集中をおこさせる儀式のようなものである。…三島由紀夫

13. 熱戦でしたり落ちる汗が、床におちると足がすべる。そこで彼女たちは、それに気づくと、すぐ雑布がけよろしく布で床をぬぐう。日本女性の優雅なたゞずまいを見る。…有吉佐和子

14. 日本チームの女子選手たちは、まるでつやぶきんをかけるように、試合中、たびたび緑のパンツからタオルを出して汗にぬれた床を、女らしくそっとふく。…三島由紀夫

15. バーベルに向うアラブ連合の選手は、瞑想する哲学者のように、インド選手は銀行員のような実直さが、韓国選手は、計算高い商人のようにみえる。…菊村 到

16. 他の選手が不安気に立ったり、すわったり、あたりをウロウロしている間、ヘイズは1人でスタートラインに両手をつき、頭を垂れている。黒人のヘイズは、ふだんの生活ではさまざまな不如意や不満もあることだろう。しかしいまスタートについた彼の胸には、そういう日常的なワズラワシサは宿ってまい。ひっそりとうづくまったその姿勢に、何か不動の美しさのようなものがみられる。…安岡章太郎

17. 私は黙々と恐るべき慎重さで競技を終えたソビエト体操選手たちの、地道な精進ぶりを、こわいと思わずにはおれなかった。…平岩弓枝

18. アベベは走るという競技を司どる神の姿を現実に目の前にみる感じがする。…石原慎太郎

19. 彼女たちの節度ある試合態度（日本バレー女子チーム）から真摯な情熱とハードトレーニングの結果、身につけた「大きなもの」すなわち勝れた魂が感ぜられ、この人たちの1人1人はきつと人間的にも練れた立派な人にちがいないと思われた。…有吉佐和子

20. 日本バレー女子チームの皆さん、あなた方は、もう何をやっても大丈夫でしょう。頭脳と容姿と体力を含めた精神力と、三拍子そろったあなた方の、これからの人生の幸福を私はお祈りします。…有吉佐和子

◎試合中の選手のしめす表情について

1. ポーランドのノバク選手（重量挙げ）は、いつもニコニコ登場し、たとえ失敗しても、しょげはしない。自己のベストをつくせばよいだろうというような表情である。…井上友一郎

2. 飯島選手は、およそ30米くらいまで、快調に飛ばしていく。だが、いかんせん、飯島のからだは弱々しく、いまにもバランスが破れそうな悲壮感がほどばしる。…井上友一郎

3. ヘイズの黒光りのする、たくましい四肢を眺めた私は、人類が斗いのこって、王者となった歴史の永さを想った。…柴田錬三郎

4. 100米決勝に残った選手たちの過半数が、炎熱に堪えるために、鍛えられた褐色の皮膚の持主であることに、私は感動をおぼえた。…柴田錬三郎

5. 佐々木はひたすらに泳ぐ（1500米自由型）、水に隠見する顔は、赤らんでみえる。あの苦しいげな、目をつぶり口をあいた顔、あのぬれた顔、ぬれた額の中に、どんな思念がひそんでいるか、たとえそれが1点の、小さな炎のような思念であろうとも。…三島由紀夫

6. 小野選手の「つり輪」の演技を、かたわらの「あん馬」のそばで、ソ連のシャハリンは、燃えるような目つきで見つめている。小野が地面に下り立った時、彼は我にかえたように、「あん馬」にいどみ、まもなく小さな失敗をした。自然で人間的な、美しいエラーであった。…曾野綾子

7. 完璧な体操競技は、人間の心の戦いのようだ。「つり輪」あるいは「跳馬」にのぞむ直前のある一瞬、静止している選手の表情には心がにじみ出る。…平岩弓枝

8. 多くのレーサーの中で、ただひとりスタティックな彼（アベベ）の表情に、私は未知の青く深い大陸の神秘を感じつづけた。彼の表情は、おのれ自身に打ち勝ちつつある人間の、孤高の表情にほかならない。…石原慎太郎

9. ヘーシングは高々と両手をあげて、勝負にはいる時、自信ある表情だった。一方、神永は青い。そして、体のすべてが堅かった。まずいなと思って固唾をのむ。…富田常雄

10. ヘーシングが、はやる馬みtainな印象で、試合場にとび上がり、まちきれないように、軽く軀をゆすっているのにたいして、神永は、沈着そのものゝ無表情で、堂々と、出ていった。あまり小さく感じられず、気力が一まわりも、二まわりも神永を大きく見せているようだ。…瀬戸内晴美

11. 女子バレー（日紡チーム）の試合において「さあ元氣出そう」と、短く、かん高いかけ声がかゝると、何人か「ハイッ」「ハイッ」と答える。この「ハイッ」の場面になると少し、いなかっばい女の子たちの顔が、たいへん美しくなる。…阿川弘之

12. 双方の選手たちは、冷静だった。緒戦に、ソビエト側の猛攻をいきなり浴びたとき、意外に日本選手たちは、緊張しなかった。これは勝てるかも知れない、と全く白紙の状態でみていた私も思うようになった。…有吉佐和子

13. 魔女と呼ばれる日本チームの選手たちは、そのアダナがふさわしいと思われないほど清潔感にあふれていて、姿も美しく、気合をかけ合う声も透きとおるようだった。…有吉佐和子

◎試合中、選手のかもしだす雰囲気について

1. 3ラウンド、正味9分間の戦いで、それぞれの選手の運命は、わかれていく。おそらく、それぞれの選手のその後の人生をも変えていくだろう。この勝敗にも、国や民族が背後にいて、おの

おの国の森や湖や海や太陽の光や山や花や都会や、すべてのものが、選手の背中から、息をひそめて勝敗を見守っているのである。…三島由紀夫

2. 韓国の選手が出てくれば、困難な政情のもとにある国の、あの青年層の充たされぬ思いの一つの突破口として、そこに1人の選手の姿をした希望が登場した、という感じがする。…三島由紀夫

3. 何という静かな、おそろしいサスペンス劇だろう。他のどのスポーツにも、こんなに胸を押えつけないような、ジワジワとしたスリルで圧倒するものはない。見ているうちに、私は文字通り手に汗を握り、バーベルを前にした選手の緊張がのりうつってきて、心臓が苦しくなってきた。スピードを取り去られた戦いの世界の異様な圧縮された空気を感じる。…三島由紀夫

4. 私は各選手がバーベルを前にして、いかにして、無我の状態に自分を置こうか、必死になっているのを眺めながら、そのむかしの剣客たちの修業を想った。…柴田鎮三郎

5. 競技は午後4時に始まって、ほぼ8時に終了した。11人の男たちがバーベルを持ちあげるだけの動作を、4時間ぶっとおして見ていたのだからあきれる。しかも、ふしぎなくらい、退屈しなかったし、疲れもしなかった。この競技は1種の精神のスポーツであることを知らせる。…菊村到

6. 水泳競技は単純な、まっすぐな人間意志の推進力を、美しくさわやかに見せるだけだから、1行の激しい白い叙情詩だ。…三島由紀夫

7. (田中総子選手の参加した女子100米背泳の決勝で)8本のコースに立てられた8つの水しぶきが、みんな女の腕の立てる水しぶきだと思うと、すざましい。これは女性8人のもっとも崇高なおしゃべりというべきだろう。…三島由紀夫

8. スプリンターは、最も太陽が象徴する野性のエネルギーを持っている。…柴田鎮三郎

9. 人間が生きるということは、一瞬一瞬が過去になることである。100米の疾走は、それを象徴している。…柴田鎮三郎

10. ただ、黙ってぬれそぼりながら、トラックやフィールドの中を往来する選手たちの異常なふんいきに嘸まれてしまっている。若さの息吹きとでもいうか。いや、張りつめた若さの呼吸とでもいうか。生命というあやうい交代と、浮沈の上に、さながら玉乗りのように乗りながら、自らをあやつりなやんでいる人々の、張りつめた呼吸である。…檀 一雄

11. 異様な自己鼓舞と、陶冶の果てに、おのれの頂点を席卷してしまう、執拗な意志であるとしか思えない。…檀 一雄

12. 女子80米ハードルにおいて、ほとんど1線にならんでゴールに飛びこんできた。それはけものじみたエネルギーを感じさせてぶきみなくらいであった。…菊村 到

13. 1500自由型というのは、ぶきみなレースである。すべりだしは、ゆっくり、ものうげにすゝんでいく。それがだんだん、水がひらいてくるが、その過程になんともいえぬぶきみなしづけさがある。…菊村 到

14. マラソンは人生行路に似ていると思う。…尾崎一雄

15. マラソンは、スタートと同時にすべての選手が自己を主人公としたシナリオを書きはじめ。私にはそんな気がする。…永井龍男

16. マラソンは、壮大であると同時に、残酷で、悲壮なムードのみなきるドラマである。…井上友一郎

17. 一団となってゲートに消えていくマラソンランナーたちを見送るのは、ランナー自身と同じように悲壮なものがある。…石原慎太郎

◎試合外の選手の態度、仕草について

1. 相手をノック・ダウンさせたあと、ただちにコーナーにひざまずいて、十字を切って神様に

感謝のお祈りをささげたり、自分の倒した相手を、抱いていたわりながらコーナーへ戻してやったり、試合後、握手だけですまず相手の頭を一寸いたずらっぽく叩いて、愛嬌をしめした。…三島由紀夫

2. 判定を待つあいだ、レフェリーを中央にして、選手が2人直立して正面に向っている姿は、すがすがしく、気持がよい。…三島由紀夫

3. 表彰台の中央高く起立した三宅は、バーガーとノバクの両手を握って、これを高く掲げたのは、満々たる自信と余裕があふれ、ちっともセンチメンタルな悲壮感がなかった。…井上友一郎

4. 金メダルをうけた三宅選手は、そのメダルを観衆の方へかかけてみせた。彼はそのとき、あの合計 397.5 キロの鉄の全量に比べて、金のたよりない軽さを感じたかも知れない。…三島由紀夫

5. 三宅選手は控席では、陽気で応援する人々の叫びに、うなづいたり、にやりとしたり、いかにものんきな風情であった。それが好感を抱かせる。これがバーベルをつかんだせつなの無心とその前の虚心の区別をみごとにあらわしていて感服する。…柴田鍊三郎

6. 泳ぎ終わった田中選手が、また1人、だれよりも遠く、のびやかに泳いで行った。その孤独な姿は、ある意味ですばらしくぜいたくにみえた。この孤独は全く彼女1人のもので、もうだれの重荷もその肩にはかゝっていない。…三島由紀夫

7. 白い花道にバスロープを着た娘たちの一団が現われる。彼女たちは、もう互いに口をきかない。思い思いにイスにすわったり、立ち上ったりしているところは、みんな若い娘だ。そして、たぶん、ふだんはおしゃべり好きの…。それがだれもしゃべらない。数千の観衆の中で彼女たちは孤独であり、そして無感動にみえる。…曾野綾子

8. 8 コースの選手がきれいな横顔を見せて6 コースの選手と笑っている。1人の選手がロープをのりこえて他の選手たちと話しに行った。けれど田中はまだひとりで、ゆっくり泳いだ。その姿に「よくやったぞ」と声がかゝる。フランスのキャロンは首をすくめる、ちょっとしくじったという表情である。…曾野綾子

9. 表彰台に登ったファーガソンは、アメリカの国歌が演奏されたとき、彼女は耐えられなくなったように、両手で顔をおおった。国家の栄誉という化け物が彼女にとりついて泣かせたのだ。…曾野綾子

10. 決勝のはじまる前、依田選手が、ひとりで自分のコースを、はききよめていた。それがいまでも目に残っている。…菊村 到

11. 1500米自由型決勝、日本選手でただ1人残った佐々木があらわれて、プールぎわのイスに脱衣する。紺のクツ下を脱ぎ、白地に黒線のはいった運動グツにクツ下をさしこむ。実に孤独そのものだ。…三島由紀夫

12. 佐々木は6位だった。平然と上げている顔を手のひらで大まかにぬぐい、左の手首をちょっと振った。それが彼の長い旅からの、無表情な帰来の合図だった。この若者は、また明日、旅の苦難を忘れて、つぎの新しい旅へでるだろう。…三島由紀夫

13. マラソンで、ゴールインと共にひっくり返って、担架ではこばれるもの、担架を拒否し、七転八起のありさまで、自力で芝生の方に行くもの、担架ではこばれながら片手を振るもの、いろいろな人間の型があるものである。…尾崎一雄

14. 表彰後、握手を断わってスタスタと引き揚げるヘイズ選手、彼はもうタダの人間に、1人の黒人にかえっているのだ。…安岡章太郎

15. アベベははじめ最前列に立っていたが、いつの間にか全選手の一番うしろにまわってスタートを待っている。この動作は、自分の手足の解放感を味わっているかのようにみえると共に、なにか弱気なものを感じた。…永井龍男

16. ゴールインした選手たちは芝生で、あるいはタオルに、あるいは毛布に身をおおい、静かに

横臥する者もあれば、たたずんで空を仰ぎ大きく呼吸する者もあった。それは、シナリオを書き終えた作者でもあり、その主人公でもある。…永井龍男

17. ゴール後、フィールドをジョグで流しながら、彼の（アベベ）ひとみがすでに遠く故国の森林を夢見ているのを感じる。…石原慎太郎

18. 肩を抱きあったり、ピョンピョンはねたりしているところ、東洋の魔女たちも、ごくふつうの、少しいなかつぱい女の子である。…阿川弘之

19. 両軍選手たちは、ゲーム後、かけ寄って握手したが、ポーランドはみんなニコニコしていた。（日本チームの）魔女たちは淡々と引き揚げて行った。…阿川弘之

20. 日本が勝ち、選手たちが抱き合っていて泣いているのを見たとき、私の胸にもこみ上げるものがあった。…三島由紀夫

21. 泣きながら抱きあい、背をたたきあって勝利の喜びを分かちあっている選手たちをみて、私も涙がこぼれそうになった。…有吉佐和子

22. 抱き合い、握手しあう選手たちの顔は、集団の顔から、個々の顔にもどって泣きぬれている。…水上 勉

23. 若い部員たちの泣きよろこぶのをながめてから、一瞬、口を片手でおおった。河西昌枝がそこにいた。…水上 勉

24. 金戸選手（飛板飛込み）が事故をおこしたとき、プールサイドのアンダソン選手が間髪を入れず水中に飛びこみ金戸君をたすけた。このことについての新聞記事の小ささが私には不満である。…有馬頼義

◎試合以外の選手のしめす表情について

1. このバンタム級の小柄な体が現れたとき、これでボクシングがはじまるという緊張はほとんど感じられなかった。むしろのびのびとしているように見えた。…三島由紀夫

2. 最初の日の最初の勝敗が決まって、謙虚な勝利者の表情と共に、敗者の選手の心を思っ、一種の羨望を感じた。…三島由紀夫

3. プールぎわのイスにかけた田中選手は、つつましくヒザをすばめて、どの選手よりも優雅に見えた。…三島由紀夫

4. 水着姿になった田中選手は、その強じんな、小麦いろの体軀に、こまかいバネがいっぱいはりつめているように感ぜられ、しなやかな女竹のようだ。…三島由紀夫

5. シューマンがヘイズの肩を抱き、握手したとき、白い歯をみせた笑顔の中に、ヘイズの、日常的な感覚がもどってきたのをよみとる。…安岡章太郎

6. 依田選手はすこしおくれで走りこんだ、そのうしろ姿は、やせて骨ばっていて、いたいたしかった。…菊村 到

7. 小野と遠藤選手に会ってみると、どこにも人間離れたところはない。平均的な日本人の日常的な表情をみる。…三島由紀夫

8. 優勝者遠藤でさえ（あん馬でのミスのと）退場の際、心なしか暗い目をしている。完全性への夢が、どれほどすざましいものがうかがわれる。…三島由紀夫

9. のびのびとはなやかな技をくり広げる体操競技だが、見渡したところ選手の表情は例外なしにきびしい。みんな目がこわい。…平岩弓枝

10. ヘーシングが入場してきた。陽気なのか、はしゃいでいるのか、彼のまわりの空気は、そこだけ照明が当たったように感じ、毫光を背負った印象である。…瀬戸内晴美

11. 神永がでてきた。胸をそらせるように肩を張っている姿が、こちこちに見える。その素顔は少し、青みがかっている。額が白く、そこに緊張が凝縮している感じ、悲壮な気持がみられ気の

毒：…瀬戸内晴美

12. 正座して、衣紋を直す神永の顔は真背で泣いているように見える、可哀そうで気がついたら涙が出ていた。…瀬戸内晴美

13. 大松監督があらわれる。シェパードのような精かんなその顔に、なんの表情もあらわさない。…三島由紀夫

14. 私は試合開始前から日本チームの表情を見ていて、不思議な気がした。だれの顔にも、宿望の決戦などと思える緊張が見られない。これが決戦の日の顔なのか。…水上 勉

15. 私ははじめてチームの娘さんたちを見て、感動をおぼえた。世界一の魔女の顔ではない、平凡な日本の女を代表している。すると彼女たちのあの魔力はどこから出たか、精神のはずだ。…水上 勉

◎ゲームでの印象、所感について

1. アメリカのバーガーが世界新記録を出したとき、バーガー自身の体をあらためてはかり、おまけにあの巨大なバーベルを、はかりにのせた場面には残酷なユーモアともいべきものがあった。…菊村 到

2. 柔道とレスリングは親類である。だから（レスリングには）私はどうしても熱も入るし、勝たせたかった。日の丸が4本あがった、柔道でも全勝する夢を描く。…富田常雄

3. 水泳をみて、各選手の泳ぎ方を批判する。…有馬頼義

4. 福島とベネットの3位争で、私は福島の3位を確信していたが、結果は反対であった。不幸な福島よ。…有馬頼義

5. 0.1秒の差にこれだけの価値の違いが生じるということ、我々の日常生活では理解しがたい。…曾野綾子

6. 水泳には汗くнаさがない。きれいごとのスポーツだ。水の色も美しいし、色とりどりの水着につつまれて、すべて行くさまは、ひどくぜいたくなショーである。…菊村 到

7. 衣服をつけてスタンドにいる観客とはだかで水の中にいる選手とのあいだには、或る種の断絶が横たわっている。2階の席で、そこからプールを見ていると、ひどく遠い世界で「夢のように」レースが行なわれている、という気がした。…菊村 到

8. ヘイズとくらべて日本選手をうんぬんするのは早計である。…井上友一郎

9. 1位から3位までアメリカにさらわれている、正直なところ、これではどうも、おもしろくない。国際政治や経済の場では、いつも片すみにやられているような国が、威勢よく金メダルをゴッソリいただいでいく、というぐあいでない、とおもしろみがない。…菊村 到

10. 陸上競技はもっともオリンピック的なものであろう。そこには熱狂、情熱、必死の斗争があるが、明るい宵空のもとで、人間の影を大地に宿して、整然と、明朗に、数学的に進行するさまに、理智的な世界を感じる。…三島由紀夫

11. 競技場には色彩的に美しい服装をした、役員が立っている。彼等の動作は、オートマチックにはこぼれているようで、なんとなくオモチャの兵隊に似ている。…菊村 到

12. (1500米自由型) 佐々木は大分引き離された。ターンするところで、あとに残っている回数 of 札が示される。その大きなあきらかな数字は、嘲笑的に歪んで映るのだろう。…三島由紀夫

13. 出発点の水にぬれたコンクリートの上には、選手たちのイスが散らばっている。佐々木のイスには赤いシャツと白い運動グツとが戦っている主人の帰りを、忠犬のようにひっそりと待っている。…三島由紀夫

14. 水の立ちさわぐメインプール(1500米自由型決勝が行なわれている)と正に対照的に飛込用のプールは、どろんとしたコバルト、グリーンの水をたたえて、そこに映っている影は、何一つ乱

れない。…三島由紀夫

15. 大ぜいの記録員と、必死に泳いでいる選手との15回もの水ぎわでの出合は、主観的な人間と客観的な人間の役割が絶妙な対照を示している。…三島由紀夫

16. 高跳び込みをみた。美しくないこともなかったが、くり返しの単調さが、退屈を誘う、他人に見せるスポーツ種目にもかゝらず、全く皮肉なことに、飛込みは、見てもつまらなかった。そして、かならずしも見せるためのスポーツではないはずの水球のほうが、おもしろかった。…菊村 到

17. 水球というものを、はじめてみた。水の中での行動、という制約が、さまざまなかたちで、ユーモラスな場面を生み出す。或る場面では、砂塵をたてて、平原を、馬で飛ばす西部劇のさわやかさが感ぜられる。…菊村 到

18. (水球の)ゲーム途中で、プールサイドから、なにか黒いものを選手に渡した。それはパンツであって、かれはそれを奇妙なかつこうをして着用した。これはゲーム中にパンツがぬげたのではなく、何かの理由で2枚着用したのである。…菊村 到

19. 体操というものは、美と力の接点であり、芸術とスポーツの接点である。ほかのスポーツのように、芸術の岸からみて完全に対岸にあるものではない。…三島由紀夫

20. 体操は「より速く、より高く、より強く」から完全に解放されている。単純な競争と違う点で快い。…曾野綾子

21. かつて、スポーツをやる青年は、己が技術を、オリンポスの山の神々に、ささげた。今は技術を神にささげる信仰心はない。競争がその関心の第一要素をしめるようになった時、オリンピックは墮落したのかも知れない、体操は、競争の要素がうすいのがいい。そして芸術に通じる世界もっている。…曾野綾子

22. 体操は形自体の価値を強めるところに、芸術への接近をしめし、芸術の本質は結局形に帰着するということの、みごとな逆証明をしているようなものだ。…三島由紀夫

23. (鉄棒の演技で)掌にいっぱいまぶしたすべりどめの粉がパッと散る。それは人体が描く虚空の花の花粉である。…三島由紀夫

24. 跳馬やその他の失敗で事故をおこした選手がタンカで退場するのを目撃して、ダイナミックな美しさをもつ体操競技にも、命がけの危険が背中合せにひそんでいることが、胸に來た。…平岩弓枝

25. すべてのスポーツがそうだろうか、体操はことさら、心の平衡が破れた時に、技もくずれるという事実を具体的にみせてくれる。…平岩弓枝

26. 水泳の1500などがしばしばマラソンと比べられるが、1500は、試験管に入れて、人間の能力を調べているような不自然さを感じず。…永井龍男

27. マラソンの真の意味は、順位はともあれ、全コースの雄々しい完走にある。次々と場内へ引き返してくる選手にたいして、優勝者に劣らない万雷の拍手がわき立つところ、この壮大なドラマの、ほんとうの意味がある。…井上友一郎

28. ヘーシングに敗れた神永を責めることは間違いである。柔道は日本人が強いという考え方を改めなければなるまい。…井上 靖

29. ヘーシングに比肩する柔道家が世界にあふれる日をのぞみ、日本は惜みなく力を貸してやるべきである。…富田常雄

30. どこの国の選手も、柔道衣を着ると、みな日本人のように見える。外国の審判が日本語を使ってやったりするのをみると、一種の優越感のようなものを覚える一方、なにか奇妙なもの悲しさを感じず。…田村泰次郎

31. 柔道というのは、烈しい訓練でつくりあげられる肉体と精神による発現であって、技には、

賭けるという、精神の関与が必要である。このことは各自が自分の生きる場所で、よくなさねばならないことと同一である。…田村泰次郎

32. (バレー) ボールがネットの上をコロコロとこころがって、どちら側へ落ちるかわからず、両軍見守るうちに、ポーランド側へこころげ落ちた。ポーランド選手がさもおかしそうに笑っていたのは、何だか余裕があってよかった。…阿川弘之

33. バレーボールの緊張は、ボールの激しいやりとりにあるが、高く投げ上げられたボールの、ゆっくりおりてくる間の、なんともいえない間のびのびとした時間が、実はまたこの競技のサスペンスの強い要素なのだ。ボールはそのとき、すべての束縛をのがれて、のんびりとした運命の休止をたのしんでいるように見える。…三島由紀夫

34. 三宅がスナッチで122.5キロ、福田も115キロを持ち上げる。2位のバーガーは107.5キロである。この差に日本人のすぐれた感覚をみた。…柴田鍊三郎

◎応援について

1. それぞれの国の観客の応援にも、お国振りがあらわれている。ラテン系は派手で大仰だ。…三島由紀夫

2. 三宅選手だと人ばかりしている。だが三宅の応援団が記念撮影をやっているだけで、私は苦笑した。…井上友一郎

3. 日本の皇太子夫妻が観戦に来場する。会場は一段と盛り上がる。…井上友一郎

4. ワタナベ、ワタナベと和寒町からの応援団、彼等にとっては、世界中の目が「わしらの、長武クン」にそそがれているような思いだろうか。…阿川弘之

5. 休憩時間中、陽気におしゃべりしているのは、たいてい外国人、かれらには旅行者の快活さがある。日本人はひとりぼっちがかなり多く、つまらなそうな顔をしている。…菊村 到

6. (神永がやぶれて) 白い選手や白い報道陣が狂喜するのをみて、かれらの日本柔道に対する抵抗を感じて、がっかりした。…富田常雄

◎会場について

1. 巨大な機械が、冷酷に、事務的に、おそろしくフェアに、勝敗を記録しはじめ、カタコトと音を立ててうごき出した感じ。(ボクシング) …三島由紀夫

2. 美しい別世界である(レスリング) …阿川弘之

3. 水泳プール場の光景描写…曾野綾子

4. 人間がはだかで泳ぐという、野性的でダイナミックな行為の場としては、デラックスでありすぎる。なんとなくぜいたくな気がする。(プール) …菊村 到

5. ふしぎないろどりにおどろく(陸上競技場) …檀 一雄

6. カラフルで美しい(陸上競技) …菊村 到

7. ぎっしりつまった大観衆におどろく(陸上競技) …尾崎一雄

8. そこには闘う者、ことに敗れたものの、心をやわらかくつむ、ソフトな夢幻感がある(武道館) …田村泰次郎

9. 広いドームの中は、古典と近代をミックスした、一種のモダンで荘重なムードがある(武道館) …瀬戸内晴美

10. 隔世の感がする(武道館) …井上 靖

◎かき出し・はしがきのなもの

1. 私はスポーツに無関心であった。…菊村 到

2. 私はスポーツは何も知らない。…阿川弘之

3. 雨風の中を会場に行く。…檀 一雄
4. 前に一度みて、涙の出る思いをさせられたので楽しみである。…阿川弘之
5. 自己のスポーツの思い出と簡単な予備知識について。…瀬戸内晴美
6. 日の丸をあげてもらいたい。…尾崎一雄
7. 文学と同じく強く、美しい若者をみる決心だ。…有馬頼義

[資料整理 II]

スポーツのどこがみられているかを知るために、以上の資料の記事内容分類を表にまとめると次のようになる。

項 目		件 数		項 目	件 数	
試合中の選手 について	技術について	32	82	ゲームについて	34	57
	態度, 仕草について	20		応援について	6	
	表情について	13		会場について	10	
	選手のかもし出す ふんいきについて	17		はしがきのなもの	7	
試合以外の選手 について	態度, 仕草について	24	39	計	178	
	表情について	15				

この表からいえることは次のことである。

1. 作家達が試合に目を向けているのは、当然であるが、 $(82+34/178, 65.16\%)$ 試合の前後や合間での選手の態度、表情に相当の関心をしめしていることに注意すべきである。 $(39/178, 21.91\%)$

2. 試合は勿論選手が中心であるが、それを行なう会場、それをみる観客、それを運営、管理する役員によって構成されている。だからオリンピックともなると、相当、選手以外にも目が向けられるだろうと考えられるが、選手に圧倒的に興味を持っていることが分る。 $(82+39/178, 67.97\%)$

3. 選手のどこに目を向けたかを見てみると、技術面については、 $32/121, 26.44\%$ であるが、一方、態度(仕草)表情、かもし出す雰囲気(この三者は共通したものとみられるので一括できる)については、 $89/121, 73.55\%$ とはるかに多い。

4. 以上のことから、作家たちは、選手の態度(仕草)表情、雰囲気に一番多く目を注いでいることが分る。そして、ここに万人の共感を呼ぶ面があり、健全なスポーツを見る目がひそんでいると考えるべきであろう。

[資料整理 III]

作家達が、選手をどのように見たかについて、前述の資料をたしかめてみることにする。

◎選手のしめした技術面について

1. 三島の野獣の優雅さ……すばらしさへの驚嘆
2. 阿川の毛のないゴリラ……面白さ
3. 井上(友)の非常な機械……すばらしさへの驚嘆
4. 井上(友)のヘイズただ1人……すばらしさへの驚嘆
5. 井上(友)の外国産自動車……すばらしさへの驚嘆

6. 三島の8頭立の馬車……美しさへの感動
7. 三島の夢の中の悪者……面白さ
8. 三島の空間の壁抜……すばらしさへの驚嘆
9. 柴田の疾風の如き疾走……すばらしさへの驚嘆
10. 安岡の居合抜き……すばらしさへの驚嘆
11. 安岡の圧倒的な大きさ……すばらしさへの驚嘆
12. 三島の間間は昔神であった……すばらしさへの驚嘆
13. 三島の楽園の奇蹟……すばらしさへの驚嘆
14. 曾野の高級車……すばらしさへの驚嘆
15. 曾野の名優の踊り……美しさへの感動
16. 曾野の明るい遊び道具……すばらしさへの驚嘆
17. 三島の精神の演ずる無上の形……すばらしさへの驚嘆
18. 井上(靖)のわざの切れ味……すばらしさへの驚嘆
19. 田村の正確無比の機械……すばらしさへの驚嘆
20. 阿川の名手の芸能……美しさへの感動
21. 三島の名ホステス……すばらしさへの驚嘆
22. 三島の赤い炎の矢……すばらしさへの驚嘆
23. 有吉の孫悟空……すばらしさへの驚嘆
24. 曾野の脚の長短……すばらしさへの驚嘆
25. 菊村の女子ハードルでのいたいたしい気がする……人間的同情
26. 曾野の無残な感じ……人間的同情
27. 三島の小野, 遠藤のミス……人間的同情
28. 平岩の小野の鉄棒……個性発見
29. 平岩の遠藤の技……個性発見
30. 田村の敗者のむなしさ……人間的同情
31. 有吉の女性ナンバーワン……個性発見
32. 三島の間人意志のふしぎな力……すばらしさへの驚嘆
33. 有吉の完璧な技術……すばらしさへの驚嘆

以上の記事内容分析において、技術へのすばらしさや美しさに驚嘆、感動するのは普通のことであるといえようが、技術を通してどのような人間であるかを類推したり、技術の失敗などに対する人間的同情がみられるのに注目すべきだと思われる。

◎選手のしめした態度、表情、かもし出した雰囲気について

(A) 試合中の態度や仕草

1. 井上(友)の三宅の余裕……精神力への驚嘆
2. 富田の斗志, 斗魂……精神力への驚嘆
3. 檀の落着き……精神力への驚嘆
4. 柴田の敢闘……精神力への驚嘆
5. 三島の斗志……精神力への驚嘆
6. 石原の孤高の王者……個性発見
7. 井上(靖)の神永の鈍重さ……人間的同情
8. 富田の王者の貫録……精神力への驚嘆
9. 三島の研究室の中の科学者……個性発見

10. 柴田の動物園の熊……個性発見
 11. 柴田の無心の一瞬……個性発見
 12. 三島の精神集中の儀式……人間的共感
 13. 有吉の優雅なたゞずまい……個性発見
 14. 三島の女らしく……個性発見
 15. 菊村の瞑想する哲学者……個性発見
 16. 安岡の不動の美……人間的共感
 17. 平岩の地道な精進……個性発見
 18. 石原の競技を司どる神の姿……個性発見
 19. 有吉の大きなもの、勝れた魂……個性発見
 20. 有吉のもう何をやっても大丈夫……個性発見
- (B) 試合中の表情
1. 井上(友)の自己のベストをつくす……個性発見
 2. 井上(友)の悲壮感がほどぼしる……人間的同情
 3. 柴田の人類の王者への歴史……人間的共感
 4. 柴田の鍛えられた褐色の皮膚……人間的同情
 5. 三島の炎のような思念……人間的共感
 6. 曾野の人間的な美しいエラー……人間的共感
 7. 平岩の心がにじみ出る……人間的共感
 8. 石原の深く青い未知の大陸の神秘……人間的共感
 9. 富田の神永の顔色が青い……人間的同情
 10. 瀬戸内の気力が大きくみせる……人間的共感
 11. 阿川の女の子の顔が大へん美しくなる……人間的共感
 12. 有吉の冷静さに勝てる予感を感じず……人間的共感
 13. 有吉の魔女にふさわしくない……個性発見
- (C) 試合中の選手のかもし出す雰囲気
1. 三島のすべてのものが息をひそめて見守っている……人間的共感
 2. 三島の希望の登場……人間的共感
 3. 三島のスピードをとり去られた異様な圧縮された空気……精神力への感動
 4. 柴田の剣客の修業……精神力への感動
 5. 菊村の精神のスポーツ……精神力への感動
 6. 三島の1行の激しい白い叙情詩……精神力への感動
 7. 三島の最も崇高なおしゃべり……精神力への感動
 8. 柴田の野性のエネルギー……精神力への感動
 9. 柴田の一瞬一瞬が過去になる……精神力への感動
 10. 檀の張りつめた呼気……精神力への感動
 11. 檀の執拗な意志……精神力への感動
 12. 菊村のけものじみたエネルギー……精神力への感動
 13. 菊村のぶきみなしづけさ……精神力への感動
 14. 尾崎の人生行路……精神力への感動
 15. 永井のシナリオ書き……精神力への感動
 16. 井上(友)の悲壮なムードのみなぎるドラマ……精神力への感動
 17. 石原のマラソンランナーの見送り……精神力への感動

(D) 試合外の選手の態度, 仕草について

1. 三島の十字を切る選手……個性発見
2. 三島の正面に直立する選手……人間的共感
3. 井上(友)の三宅の表彰時の余裕と自信……人間的共感
4. 三島の金のたよらない軽さ……人間的共感
5. 柴田の三宅の好感さ……個性発見
6. 三島のすばらしくぜいたくな独泳……人間的同情
7. 曾野のおしゃべり娘の無口, 無感動……人間的共感
8. 曾野のコースロープをこえて話しに行く選手……個性発見
9. 曾野の国家の栄誉という化け物……人間的共感
10. 菊村の依田のコースのはききよめ……個性発見
11. 三島の佐々木の孤独……人間的共感
12. 三島の帰来の合図……人間的同情
13. 尾崎のいろんな人間の型……個性発見
14. 安岡のたゞの人間にかえったヘイズ……人間的共感
15. 永井のアベベの解放感と弱気……人間的同情
16. 永井のシナリオを書き終えた作者……人間的共感
17. 石原の故國の森林を夢見るヘイズ……人間的共感
18. 阿川のふつうの, 少しいなかっばい女の子……人間的共感
19. 阿川の魔女の淡々さ……個性発見
20. 三島の胸にこみ上げるもの……人間的共感
21. 有吉の涙がこぼれそうになった……人間的共感
22. 水上の集団の顔から個々の顔……人間的共感
23. 水上の河西昌枝がそこにいた……人間的共感
24. 有馬の新聞記事の小さくが不満……人間的共感

(E) 試合外の選手の表情について

1. 三島ののびのびしている選手……精神力への驚嘆
2. 三島の敗者への羨望……人間的共感
3. 三島の優雅な田中選手……個性発見
4. 三島のしなやかな女竹……人間的共感
5. 安岡の日常感覚のもどったヘイズ……人間的共感
6. 菊村のいたいたい依田選手……人間的同情
7. 三島の平均的な日本人……精神力への驚嘆
8. 三島の暗い目をした遠藤……人間的同情
9. 平岩のみんなの目がこわい……人間的共感
10. 瀬戸内の毫光を背負ったヘーシング……人間的共感
11. 瀬戸内の気の毒な神永……人間的同情
12. 瀬戸内の泣いているような神永……人間的同情
13. 三島の無表情な大松監督……精神力への驚嘆
14. 水上のこれが決戦の日の顔か……精神力への驚嘆
15. 水上の魔女の顔ではない……精神力への驚嘆

以上の結果を表にしてみると次のようになる。

	試 合 中					試 合 以 外			合 計
	技術面	態 度	表 情	雰 囲 気	小 計	態 度	表 情	小 計	
すばらしさへのおどろき	21				21				21
面 白 さ	2				2				2
美 し さ	3				3				3
人 間 的 同 情	4	1	2		7	3	4	7	14
個 性 発 見	3	11	2		16	6	1	7	23
人 間 的 共 感		2	9	2	13	15	5	20	33
精 神 力 に う た れ る		6		15	21		5	5	26

試合中では、選手のしめず技術からの印象と共に、選手の精神力に打たれたものが多く、それについて個性をみようという傾向がみられる。試合外では圧倒的に人間的共感が多いのが特徴である。全般的には人間的共感が多い。ついで精神力に打たれる、個性発見とつづいている。以上から考えて、人間的共感、精神力、個性発見の中に「スポーツを見る健全な目、を求めうるではないかと思われる。そこで、それぞれの内容を今一段くわしくみてみることにする。

A. 技術について、そのすばらしさや美しさへの驚嘆や感動、ゲームの面白さなどは、作家であるため、表現が巧みであるということがいえるにしても、一般の人も気付くことであって、ごく普通のことだといえよう。すなわち、普通の人になし得ない事にたいする、当然の印象であって、スポーツを見る独自の目ではない。もしスポーツがこのような目のみから見られるならば、やがて人間不在のサーカス的なものになってしまうであろう。スポーツは断じてサーカスになるべきものではない。技術へむけられる目というものは、一般の人に対して、それほど強調すべきものではないように思われる。

B. 人間的同情については、その内容は、失敗したとか、敗れたとか、弱い選手とかに向けられたものばかりである。これは、いわゆる「敗者への目、といわれるものであって、人間感情の自然の発露であり、人間の暖い目といえよう。しかし敗者がつねに、暖い目で見られるとはかぎらない。すべての敗者が、この暖い目で見られるようになってこそ、スポーツをみる健全な目といえよう。

C. 個性発見について内容をみると、選手の個性差をみるのが面白いというもの(6)。日常生活における性格を類推するもの(6)。ねり上げられた性格特性をみるもの(6)。すばらしい完成された全体としての個性をみるもの(5)。となっている。このうち一人一人違うところに興味をもつのは大した目ではないであろう。次の選手の日頃の生活態度を見るのは、それが立派な生活振りとして連想されるならばよいが、逆の場合には、スポーツを見る目を不健全にすることになる。残った二つの立場の個性発見がなされるところにこそ、スポーツ観衆の健全な目があると考えられる。

D. 人間的共感の内容は次のようである。

1. よろこびや感激への共感…… 8
2. 真剣さへの共感…… 6
3. 人間らしさ(人間味)……14
4. 偉大さへの感動…… 5

(1)のよろこびは、勝利やなし終えたという解放感への共感であって、普通に感じられるものといえよう。だから特に強調する必要のない目といえる。(2)の真剣さは、人間が張りつめた気力をみなぎらせたときには、こうみえるという目であって、真剣になっている人の姿をあまり見慣れない

(考えることはできても) 目にとっては大切な目ではないかと思う。(3)の人間味は、これは選手もやはり血の通った人間であるということの発見であり、スポーツの世界だけにかぎらず、いたるところで、われわれが見る美しい光景である。だから、やはりスポーツもこのような目でみられることが大切である。(4)の偉大さというのは、何かに秀でた人間が、単にその人の個人的な、私的なよさをこえて、人々に人類とか社会とかいうような広い背景にまで、思いをはせさせることである。このような目はすばらしいといえよう。今後一層助長すべきスポーツを見る目だと思われる。

E. 精神力については次のような内容に分けられる。

1. 試合における精神力に関するもの…… 6
2. 平凡さから生まれた精神力…… 2
3. 異状に支配されない精神力…… 3
4. 集団で作った精神力…… 15

(1)については、試合中の選手の試合ぶりとして、みられる斗志、斗魂、敢斗などの精神力についてである。このような試合態度は立派な試合ならば当然、印象にのこることであって、いわばあたりまえのことといえるであろう。(2)の精神力は普通の人と変らない外見をしていながら、すばらしいことを為し遂げる不思議さの原因として精神力の偉大さを見るところである。このような目は現在においては、知的には理解されている普通のことであるといえよう。しかし実際にまのあたりに見る感動というものは尊い経験の一つになるであろう。(3)の精神力は、異状な興奮、緊張の中に置かれたものが、それをのりこえて、平常さを保っていることへの驚嘆を意味するものである。訓練された、鍛え上げられた人間の示す姿をそこにみているのである。このような一つの領域で完成された人間を見る目も大切なものであろう。(4)の精神力は、人がグループを作り、その集団の一人一人が、皆んな一つのことを、集中し切ったときの、集団精神のすばらしさにひきこまれた状態をいっているのである。集団でしめた人間の意志の力、これこそ人間が示しうる最高のものの一つではなからうか。狂信的な信者の群の中に、共同研究する科学者たちの中に、同じ思想に傾倒している人々の中に、これと同じものを見ることができると、スポーツはこれを最も単的に、純粹に、そして容易に多くの人に見せることができるのである。スポーツが見てもらいたいし、見せるべきものはここではないであろうか。

結 論

作家達が選手について見たのは、その態度、仕草、表情、選手たちのかもし出した雰囲気であり、そして、極限の状況下で真剣に行為する人間の尊さ、美しさ、すばらしさに感動し、驚嘆しているのである。この作家の目こそスポーツを見る健全な目であるといえよう。

以上のことから考えて、スポーツをする選手というものは、従来、態度、表情、雰囲気については、自然に発露されるもの、何んとなしにかもし出されるものと考え、特別意識しなかった傾向がある。しかし、スポーツが見られているという立場から考えれば、単に自然にまかせておくというのではなしに、そこで選手自身の人間的価値、ひいてはスポーツの良さが評価されているという自覚のもとに、積極的にこれにとりくむべきであろう。ちょうど俳優が観客に最高のものをみせようとして、演技に最善の努力を払うようにである。

以上のような見地から、今後スポーツを見る目の健全さを助長するために、スポーツを行うものは、次の諸点に充分配慮する必要がある。

1. すべての敗者が、みんな暖い目で見られるように。
2. 自己のもてる最善の個性がにじみ出るように。
3. 人間らしさを決して失なわないように。

4. 選手全員が自己の最善最高のものを呈示するだけでなく、互に最良の雰囲気を作り出すように協力すること。

選手というものは観客に対して、人間の外に表わしうる、精神力のすばらしさを見せるものだとすることを銘記すべきであろう。「スポーツは、極限に処する人間的感動でもって、観る人を魅了する演劇である」

(昭和43年 7月16日受理)

